



早稲田中学校・高等学校

Waseda Junior & Senior High School

(現在、校舎建替中のため、一部建替前の内容を含みます)



君のための場所がある。

早稲田中・高等学校第一校歌

ああ わが中学早稲田の子等よ
中外古今にもとらぬ教え
愛国 博愛 正義を主とす
君らもそれらを標語とするや
問わな 問わな 問わな

おお われもとより国家を愛す
博愛 正義もわれらが標語
さもあれ心に誠しなくば
根のなき浮草 かれまづ唱(との)う
誠 誠 誠

ああ わが中学早稲田の子等よ
何をか君らは得まぐぞ思う
財(たから)か、力か、知能か、名誉
健康、悦楽、長寿か、いずれ
問わな 問わな 問わな

おお その七つは事功のもとい
理想を彫(え)りなす 鑿(のみ)また鉋(かんな)
さもあれ誠を台座とせずば
只これ醜き我欲(がよく)の像(すがた)
みにく みにく みにく

かれ わが中学早稲田の子等は
いそしみはげみて学べる間(ひま)も
くつろぎ休みて遊べる折も
誠ぞわれらが理想の基音
誠 誠 誠

本校の沿革



大隈 重信



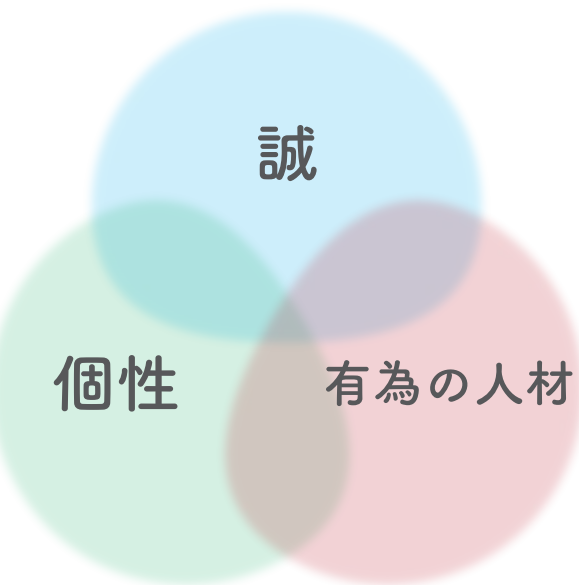
坪内 逍遙



1895（明治28）年11月、大隈重信の教育理念に基づいて、坪内逍遙、市島謙吉、金子馬治を中心に、本校は創立されました。とくに坪内逍遙は創立後の10年間文芸の筆を絶って本校の精神的形成に邁進し、大きな影響を遺しました。1882年、大隈重信によって創立された早稲田大学の建学の精神〈学問の独立〉に対し、本校は〈人格の独立〉を主張しています。自ら信じ自ら恃む自立心を生徒に要求し、「逆境に処して益々雄壮」な人間の育成を理想とするものですが、それは大隈重信の人格の根本でもありました。1896年4月、教職員・生徒100名たらずで開校した早稲田中学校は、その後長く「早中」の呼称をもって天下に知られました。1948年の学制変更により高等学校を発足させて、今日に至っています。本校は、青春の重要な時期を過ごす生徒に対し、中学・高校6カ年一貫教育の特色を学習・生活の両面で生かした独自の教育実践を行ってきましたが、さらに教育の充実と発展を期して、1979年4月から早稲田大学の系属校としての第一歩をふみだしました。

創立者を同じくする大学と中学・高校が「早稲田」の紐帯を確固としたのですが、一方で、独立した精神によって生徒が自ら志望するいかなる大学へも進学が可能であるような指導もなされています。これはまさに坪内逍遙が創立期において所期した姿勢でもありました。本年、本校は創立125周年を迎えます。時代は日々厳しさを増していますが、建学の精神に立ち帰り、心身共にバランスのとれた「逆境に処して益々雄壮」な若者を世に送り出していきたいと考えています。

教育目標



誠

誠は人間としての基本となるべき心の持ち方であり、言行の一致に基づく誠意・真剣さなどとして発現されます。この精神は、本校創立にかかわった坪内逍遙により校訓として掲げられ、以来、本校の人間教育の根本精神となっています。

個性

本校においては、個性の立つべき根幹を独立・自主・剛健にしています。これは、創立者大隈重信の人格の主要な一面でもありました。本校はこうした個性の発揚・伸張をうながすことに努めています。

有為の人材

人間の資質は個人のためだけのものであってはなりません。他を活かし人類を益する人材の育成を本校は目指しています。

教育の特色

- 1. 中学・高校6カ年の一貫教育により、生徒のこころとからだの自然な成長をはかり、自らの志を遂げ得る学力の向上を目指しています。
- 2. 人間として豊かであるための教養を高めるとともに、全員が大学進学を希望していることも考慮して、教科のカリキュラム、特別教育活動および学校行事を編成しています。高学年では、生徒の進路・適性に応じて、その志望を達成できるよう、文系・理系の分割など、教育課程に特別な配慮をしています。
- 3. 1981年度高校卒業生より早稲田大学への推薦入学制度が発足し、本校所定の推薦基準によって、早稲田大学へ進学の志ある者を各学部推薦しています。
- 4. 生徒会活動・クラブ活動は中学生・高校生が一体となって行われ、よい意味での先輩後輩の連帯があり、その明るい雰囲気は卒業後も長く広い交友となって発展しています。また、活動における自主性・創造性の発達は、学業の推進に有効なはたらきをしています。
- 5. 入学1年後より、家庭の事情などで学業の継続が困難となった生徒には、選考のうえ、大隈重信記念基金奨学金・大久保建男奨学金・校友会奨学金・早稲田中高奨学金などを給付する校内奨学金制度があります。また、高校においては、東京都の制度として、入学時の入学支度金（貸与）、在学時の授業料軽減助成（給付）などもあります。

概況

所在地	東京都新宿区馬場下町62番地
校長	川口 浩（早稲田大学政治経済学術院 教授）
副校長	金子 一朗
教頭	中学校：鈴木 正徳 高等学校：根本 季代子
教職員	専任教諭75名 講師35名 専任職員7名
生徒数	定員1,800名（中学900、高校900）
学級数	42クラス（中学21、高校21 各学年7クラス）
教室	普通教室42 小教室8 記念大教室（350人収容）
※特別教室等	理科実験室6、音楽教室2、美術教室3、書道教室、家庭科教室、多目的教室4、保健室、相談室、研究・準備室16
※情報センター（図書館）	図書閲覧室（100人収容）・蔵書数約6万冊（CD・DVDを含む）PC100台
※体育施設	人工芝グラウンド、興風館（体育館・柔道場・剣道場）、室内25mプール、弓道場、バッティングゲージ、トレーニングルーム
その他の施設	放送室、食堂、売店、生徒会室、生徒談話室、クラブ棟、防災倉庫
校外施設	入笠山鈴蘭寮（長野県諏訪郡富士見町大沢山） ※3号館・興風館建替前の状況を掲載しています



1日の流れ



登校
朝の開門時刻は7:00です。朝練のあるクラブもあり、活動は7:10から始まります。朝早く登校して、授業の準備をする生徒もいます。



SHR
朝のSHRは8:10に始まり、出欠調査や連絡事項の伝達が行われます。組主任は、朝一番に生徒たちと向かい合うことによって子供たちの様子をうかがうことができます。短い時間ではありますが、大切なひと時です。



午前の授業
50分の授業が4つ行われます。間には10分間の休み時間があります。
土曜日は午前の授業で終了となります。



昼休み
昼食はお弁当を持参する生徒が多いですが、校内の食堂を利用することもできます。また、売店ではおにぎりやパンなども販売しています。食後は、校庭で運動をしたり、教室で談笑したり、読書したり様々です。委員会、クラブの部会などの他、面談が行われることもあります。



午後の授業
月曜日から金曜日は、50分の授業が2つ行われます。間には10分間の休み時間があります。



授業終了後
授業が終わると、掃除当番は教室その他の清掃にあたります。学年によっては、清掃の前に、朝のSHRを補うための「終礼」が設定されています。委員会、クラブの部会などの他、面談が行われることもあります。

登校	SHR (ショート・ホーム・ルーム)	午前の授業 (1～4時限)
7:00～8:10	8:10～8:20	8:30～12:20

昼休み	午後の授業 (5～6時限)	授業終了後	クラブ活動	最終下校時刻
12:20～13:00	13:00～14:50	14:50～15:20	15:20～17:30	18:00

授業

本校では6年間で2年ずつに分けて、中1～中2を生活習慣と学習の基礎を固める時期、中3～高1を実力養成時期、高2～高3を応用力完成時期と位置づけています。

教科ごとの特徴としては、まず数学では、中3で高1の内容をほぼ終わらせ、高2までには教科書の内容を終わらせるようにしています。英語では中2・中3・高1・高2の授業のうち1時間を、ネイティブスピーカーによる英会話の授業にあてており、少人数の分割授業を行っています。社会や理科ではアクティブラーニングの一環として体験学習を採り入れており、その中心となっているのは、社会では中1でテーマごとに1学年を約60グループに分けて実施する鎌倉研修、理科では中3で埼玉県の秩父盆地をフィールドに地層や化石の調査を行う地学実習です。

学年が上がり、高2になると文系と理系に分かれ、高等学校で学習する基礎的教科・科目の学習を概ね修了します。高3では生徒がめざすいかなる大学・学部にも進学できるように、さらに大学入学後には専門を超えた知識と教養が必要となるため、それに合致するように、高2までに学習した内容を一層深化させたカリキュラムを設置しています。長期休暇中には補習・講習を実施し、生徒がいろいろな講座を受けることができるようにしています。さらに、オーストラリアのメルボルン・グラマー・スクールとの提携のもとに、高1・高2(2022年度より高1のみ)を対象とした交換留学を実施しています。

また、本校では主要教科のみでなく、音楽、家庭科、情報といった大学受験とは関係のない教科にも力を入れています。音楽ではひとり一台ずつの電子ピアノが用意され、充実した実技指導が行われています。また、家庭科では簡単な裁縫から本格的な調理実習・栄養学まで丁寧な指導が行われています。情報ではワープロ・表計算・プレゼンテーションソフトの基本技能の修得と各種リテラシーを指導します。これらは、他教科の授業や委員会活動で、利用されることも少なくありません。

本校では生徒たちに幅広い知識と教養を身につけさせ、将来大きく羽ばたける紳士を育成したいと考えています。



クラブ活動
クラブ活動は15:20(土曜日 13:00)から行われます。どのクラブも活動は週4日以内と定められており、決められた曜日に活動します。クラブによっては週に1日程度、校外地での活動もあります。本校の多くのクラブでは中学生・高校生が一体となって活動を行っています。17:30が活動終了時刻となっており、活動終了後、生徒たちは片付けや着替えをして帰宅の準備をします。

また、中1については、新しい環境に慣れるために、1学期は16:30を活動終了時刻としており、先輩たちより一足早く帰宅準備を始めます。2学期からは先輩たちと同じように活動します。

下校
生徒は18:00には下校しなければなりません。

1年の流れ（学校行事）

※新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、中止・延期となる可能性があります。

※スケジュールは年度によって変更になる場合があります。

1学期・夏休み

4月初旬～9月初旬

入学式

始業式

体育大会

関西研修

終業式

林間学校

サマーキャンプ

学習林間

交換留学

体育大会



体育大会は毎年5月上旬に中学と高校に分けて2日間にわたり実施されています（非公開）。興風館建替期間中は外部施設で実施します。

体育大会実行委員会を中心に生徒たち自身の手で企画・運営されていて、クラス対抗のスポーツ大会やリレー、クラブ対抗リレーなどを行います。新年度最初の大きな行事で、クラスや学年のまとまりを作る上で大きな役割を果たしています。

関西研修



高2の6月に3泊4日で京都・奈良を中心とした関西研修を実施しています。準備は1年以上前から始め、旅行委員の生徒が中心となって企画を作り上げます。現地では班別行動が基本となるため、各班員が相談しながら自分たちの研修するコースを決めています。この研修は単なる物見遊山の旅行ではなく、関西地方の文化や歴史、自然や風土を深く学び取ることを目的としています。

林間学校



夏休みの前半、中1を対象に長野県富士見町にある入笠山鈴蘭寮にて行われます。生徒たちは仲間との友情を深め、大きく成長していきます。

サマーキャンプ



中2以上の希望者対象の行事です。生徒主体の行事となり、入笠山の自然に親しみます。生徒が希望する野外活動を教員と共同で行います。

2学期・冬休み

9月初旬～1月初旬

始業式

興風祭

地学実習

終業式

スキー学校

興風祭



9月下旬から10月上旬の土、日2日間実施される本校最大の行事が興風祭です。

高2を指導学年とした学芸大会実行委員会を中心に、様々な形で生徒たちが関わり、協力し合い作り上げていきます。学芸部にとっては日ごろの活動の成果を発表する場であり、生徒たちはこの日のために1年かけて準備をしています。クラブ活動以外にも、有志参加を行う生徒も多く、さまざまな企画に挑戦しています。

地学実習



中3では地学の授業の一環として、野外実習を埼玉県秩父盆地で行っています。理科教員の指導の下で、地質構造や岩石の観察、化石の採集などを行い、それまでに教室で学習した知識を活用して、生徒同士で議論しながら課題に取り組みます。主体的・対話的に自然を探究する活動を通して、時間や空間の概念の形成を促すとともに、自然を科学的にとらえることを狙いとしています。

学習林間



高3の希望者を対象に入笠山鈴蘭寮で実施されます。大学進学へ向けた自学自習を行う林間学校です。

交換留学



生徒に国際的な視野を持たせるためにオーストラリアのメルボルン・グラマー・スクール (Melbourne Grammar School) との短期交換留学制度を設けています。

3学期・春休み

1月初旬～4月初旬

始業式

中学入試

鎌倉研修

高校卒業式

終業式

中学卒業式

鎌倉研修



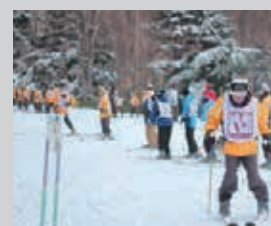
鎌倉研修は、中1の社会科の授業の一環として実施されています。社会科教員の指導の下で、生徒は行動計画表を作成し、下調べ学習を行うなど事前学習を徹底的に行います。当日は班別行動となり、自分たちの立てた計画に従い、研修を進めていくことになります。事後には、現地で得られた情報をまとめてレポートを提出するとともに、授業で毎に研修の成果を発表しています。

学年の行事



各学年が独自で企画する行事です。学年により実施の有無が異なります。校外授業の中で50年以上の歴史がある利根川歩行・荒川歩行、高2対象に行われるオペラ鑑賞、専門家の事前指導とセットで行われる歌舞伎鑑賞、ミュージカル鑑賞、演劇鑑賞、コンサート鑑賞、相撲鑑賞など様々な行事が行われます。

スキー学校



中2の希望者（未経験者）を対象に、12月にスキー学校を実施しています。雪山の楽しさ、自然のすばらしさや厳しさを教員と生徒がともに体験しながら、スキー技術を学んでいきます。

講習



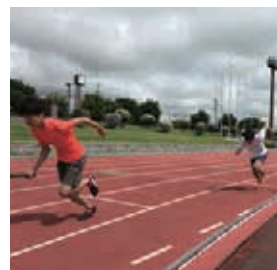
夏・冬・春の長期休暇中には教員が担当する希望制の講習を実施し、多くの生徒が受講しています。英語・数学を中心に講座が開かれ、通常授業よりも発展的な内容を取り扱います。

クラブ活動

運動部が17、学芸部が12、同好会が11あります。

多くの生徒がそれぞれの活動を通じて、自主性・創造性を伸ばし、各種大会・発表会で活躍しています。

運動部



陸上競技



サッカー



硬式庭球



ソフトテニス



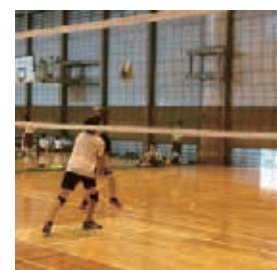
硬式野球



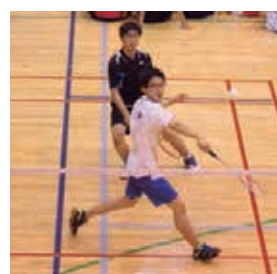
軟式野球



バスケットボール



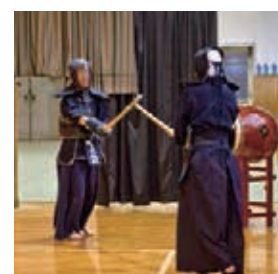
バレーボール



バドミントン



フェンシング



剣道



卓球



弓道



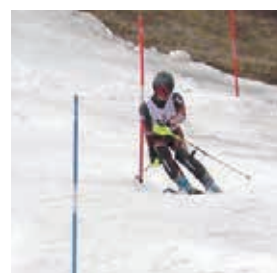
水泳



ワンダーフォーゲル



サイクリング



スキー



学芸部



物理研究



化学研究



地学



吹奏楽



歴史研究



鉄道研究



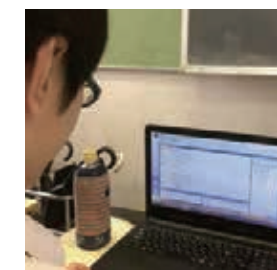
将棋



軽音楽



クイズ研究



PCプログラミング



弦楽



生物園芸

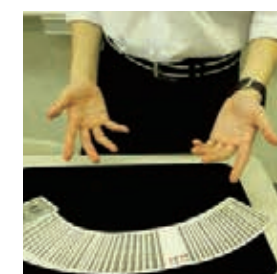
同好会



美術



釣り研究



マジック



折紙



アイスホッケー



数学研究



英会話



文芸



模型



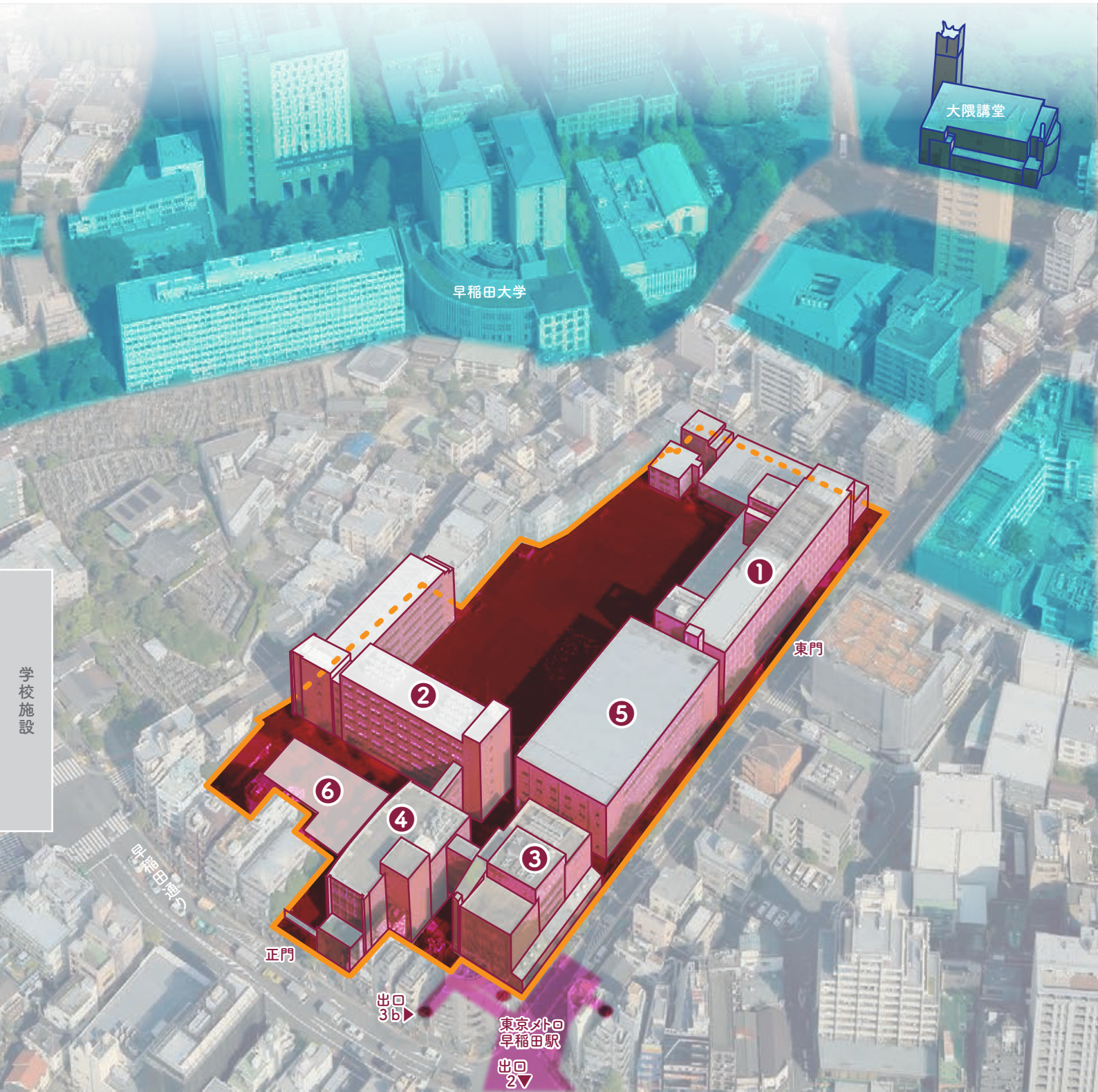
囲碁



柔道



校舎・施設



新宿区馬場下町上空 2017年撮影

- ① 1号館
- ② 2号館
- ③ 3号館
- ④ 4号館
- ⑤ 興風館
- ⑥ 仮設校舎

※ 3号館・興風館・中庭は校舎建替前の景観を掲載しています

1号館（高校棟）



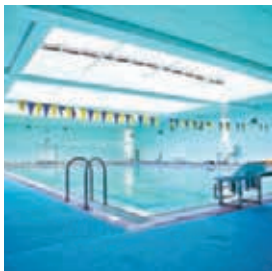
外観



教室



記念大教室



屋内プール



食堂・談話室

2号館（中学棟）



外観



教室



第2音楽室



家庭科教室



談話室

3号館（情報センター・理科棟）



外観



図書閲覧室



AV学習室



理科実験室



階段教室

4号館（管理棟）



外観

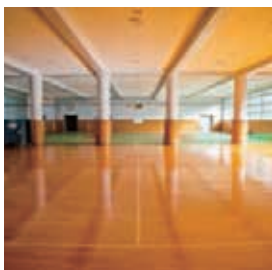


事務所

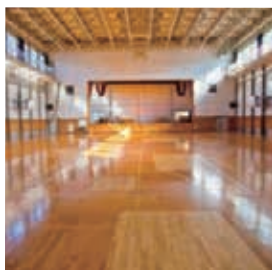
興風館（体育館）



外観



柔剣道場



アリーナ

その他



正門



中庭



保健室



校庭



入笠山鈴蘭寮（長野県）

新校舎の概要

建築面積	延床面積計：約12,000㎡（現行比約6,000㎡増）
建物用途	新3号館：地上6階（理科実験室、情報教室、学習スペース、売店） 新興風館：地上6階・地下1階（地下屋内プール、図書館、食堂、大ホール、アリーナ、柔剣道場、屋上運動場）
建替の背景	現在の3号館は1976年竣工、興風館は1981年竣工であり、それぞれ建築後43年、37年を経過しています。将来を見据え、生徒の教育環境の更なる向上を図る観点から、本校の創立125周年事業と位置づけ、両校舎の建替を同時に実施するものです。
工期	2020年7月～2023年7月（予定）



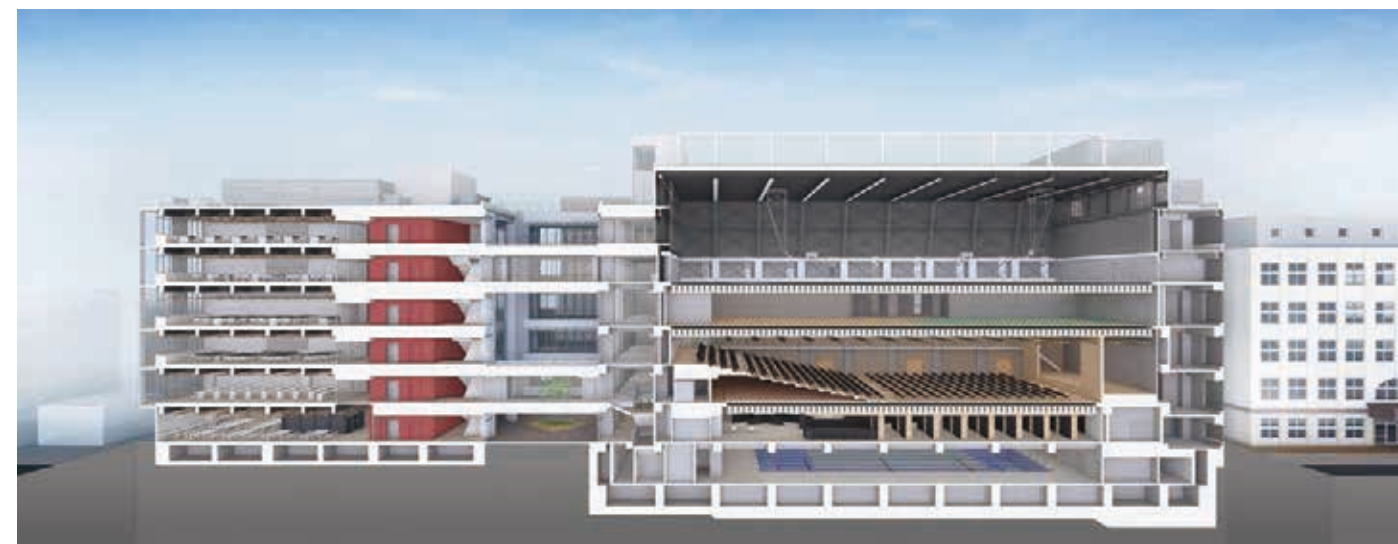
新校舎イメージ図（左：3号館、右：興風館）



東側外観イメージ図（左：3号館、右：興風館）



鳥瞰イメージ図



断面図（左：3号館、右：興風館）

工事工程表（今後行政協議等により変更の可能性があります）

2019年度			2020年度												2021年度												2022年度												2023年度								
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6						
設計																																															
仮設校舎建設												③仮設校舎解体																																			
● 既存校舎改修																																															
①既存校舎解体																																															
②校舎建設																																															
③既存校舎解体																																															
既存校舎改修																																															
④校庭整備																																															

：新築工事：改修工事：解体工事

- | | |
|---------------------------|------------------|
| ①既存校舎解体工事（３号館・興風館） | 2020年7月～2020年3月 |
| ②校舎建設工事（３号館・興風館） | 2021年3月～2023年2月 |
| ③既存校舎解体工事（仮設校舎・プール・部室棟等） | 2022年12月～2023年3月 |
| ④校庭整備工事 | 2023年4月～2023年7月 |
| ※その他、既存校舎内の内装改修工事を予定しています | |

主な特徴

1. 校舎の一体化、生徒の集う場の創出

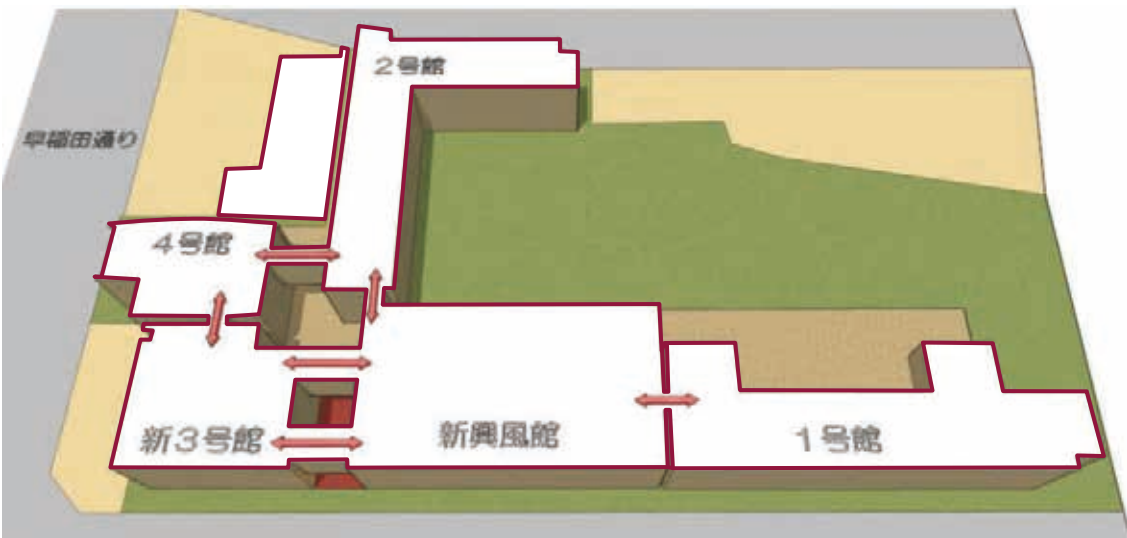
- ・3号館と興風館を一体として捉え、両校舎の中間部分に6層吹き抜けのプラザを設けます。
- ・プラザ周囲および各階に図書館・自習室・ホワイエ・トレーニングジム・多目的スペース等を設け、生徒の集える場、憩える場を提供します。
- ・3号館・興風館と他の校舎を廊下で連結し、校舎間の移動を容易にすることで、プラザを中心に中高生の盛んな交流を生み出します。



プラザイメージ図1



プラザイメージ図2



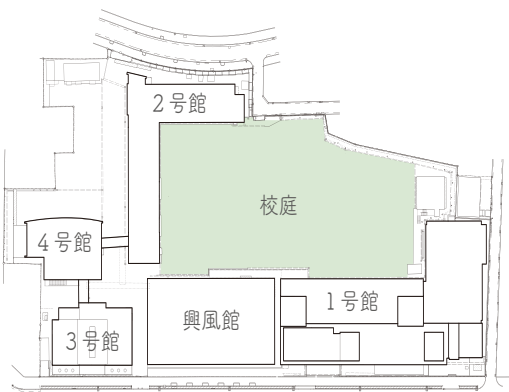
3階レベル・模式図

2. 教育環境の向上

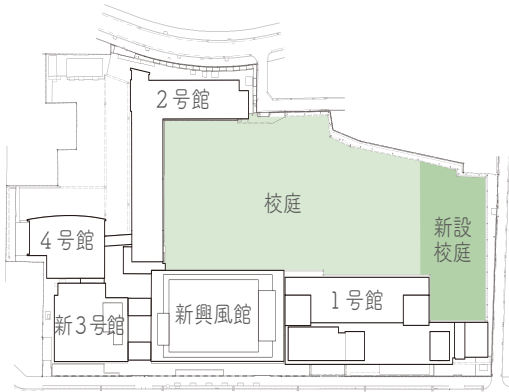
- ・ICT環境の整備、理科実験室および情報教室の充実を図り、授業レベルの更なる向上を目指します。
- ・図書館を拡張し、学習スペースを新設することで学習環境の向上を図ります。

3. 運動スペースの充実

- ・既存建物移転に伴う校庭の拡張などにより、運動スペースを広げます。
- ・興風館に、アリーナ・柔剣道場・屋内プール・運動施設兼用の大ホール・屋上運動場を設けることで校地内に運動スペースを確保します。

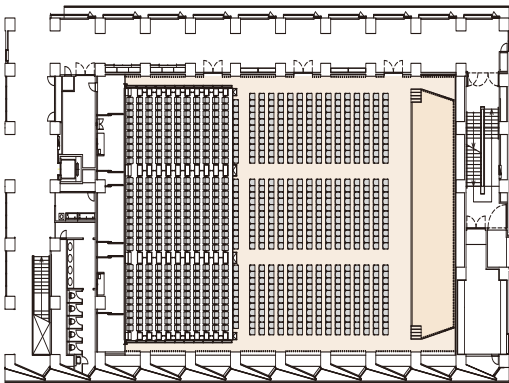


既存配置図

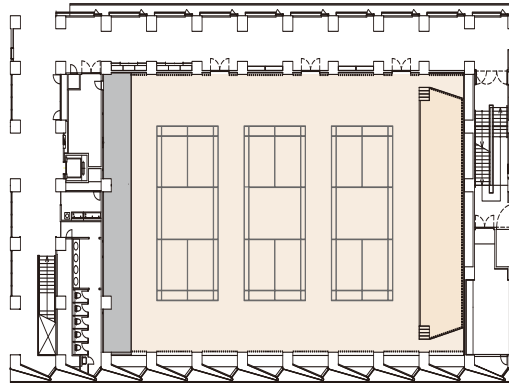


完成配置図

大ホール（集会施設・スポーツ施設兼用）



集会利用時



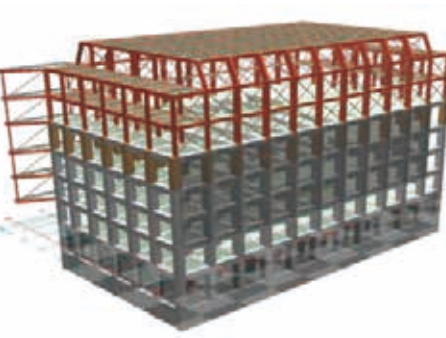
スポーツ利用時

4. 安全な環境の整備

- ・耐震性の高い強固な構造（基準の約1.5倍の耐震強度）により、災害時にも生徒の安全を守ります。



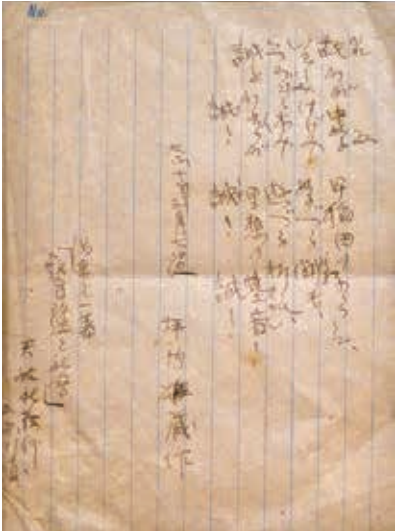
構造架構パース（3号館）



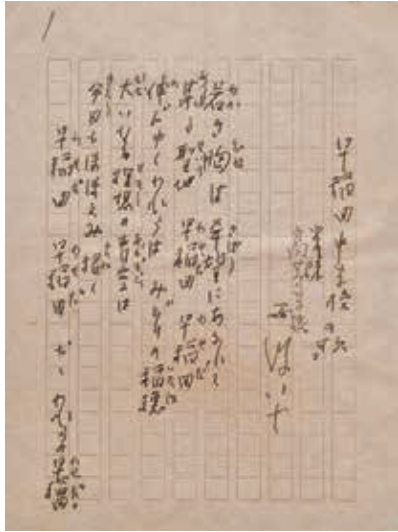
構造架構パース（興風館）

本校の歴史資料

まもなく125周年を迎える本校には歴史的な価値、教育的な価値を持つ資料があります。これらは授業に活用されることもあります。



第一校歌（坪内 逍遙 直筆）



第二校歌（西條 八十 直筆）



中村 彝 作「増子 喜一郎」/油彩



第1回生卒業記念写真



1942年 本校に投下された焼夷弾



曽宮 一念 作「波太港沖の岩礁」/油彩



校史資料室(興風祭以外は一般公開していません)

アクセス



- 電車の場合
- 東京メトロ東西線：
早稲田駅 3b・2 出口から徒歩1分
- 東京メトロ副都心線：
西早稲田駅 1・2 出口から徒歩約15分
- 都電荒川線：
早稲田駅から徒歩約10分
- 都営バスの場合
- 学02系統：
高田馬場－馬場下町停留所 下車1分